

## 年次報告書の作成について

### I 概要と目的

「生物多様性 神戸プラン」に掲げているリーディングプロジェクトをはじめとした施策の進捗を年次報告書として取りまとめ、市民等に配布することにより、本市の生物多様性に係る取り組み状況を広く知っていただき、生物多様性の主流化・更なる行動の促進を図る。

### II 年次報告書について

1 題名 神戸市生物多様性レポート

#### 2 仕様

- (1) 仕上がりサイズ A4
- (2) 刷色 両面カラー
- (3) ページ数 8 ページ
- (4) 印刷部数 300 部
- (5) 配布予定時期 3月下旬～

#### 3 内容

- 1 ページ 表紙
- 2～5 ページ 平成28年度の生物多様性施策の実施状況（リーディングプロジェクトを中心）
- 6, 7 ページ 平成29年度の生物多様性施策の予定事業
- 8 ページ 補助事業等の案内

#### 4 配布先

市内の環境保全活動団体、環境学習施設（こうべ環境未来館）等

# 平成28年度 神戸市 生物多様性 レポート



平成29年3月 神戸市環境局



## レポートの目的

神戸市は、海・山・川・池・田園など、様々な自然環境がある生物多様性の豊かな都市です。しかし、中には、聖地聖山のように、人が関わり続けなければ生物多様性が失われてしまう環境もあります。

生物多様性の危機に対応するため、神戸市では、平成23年2月に生物多様性保全の行動計画「生物多様性神戸プラン2020」を策定し、平成23年3月に改定版「生物多様性神戸プラン」を定めました。そして、同プランにおいて重点的に取り組む施策「リーディングプロジェクト」を6つ定めました。

本レポートは、神戸市の生物多様性にどのような課題があるのか、それに対してどのような取り組みがなされているのかを市民の皆様と共有するために作成されました。リーディングプロジェクトを中心に平成23年度に実施した事業を紹介していますので、本レポートを通じて、市民の立場でもめることをお考えいただければ幸いです。

## リーディングプロジェクト 外来種から水辺の在来種をまもる 市民と取り組むアカミミガメの防除作戦

アカミミガメは、ヨドリガメとして知られ、海外からの輸入されたものが主にペットとして流通しています。在来のカメ類と、食料、日光浴の場所、産卵・産卵場所などが同じであり、繁殖能力がとても高いことによる、生態系に大きな影響を及ぼしており、「我が国の生態系等に被害を及ぼす外来種リスト（平成27年3月 環境省）」では「緊急対策外来種」となっています。

神戸市内の水辺にも、明石川水系（西区）を中心に、広く分布しています。平成23年度は以下のとおり、行政、市民団体などが一体となって、アカミミガメ防除活動に取り組みました。

神戸市では、アカミミガメを防除することで、在来種であるニホンイシガメが主である環境、水草などの植生の回復を目指しています。

### ● 平成23年度市民団体とのアカミミガメ防除活動の様子



捕獲用籠（カゴ罠）の設置



回収後のカゴ罠



捕獲されたアカミミガメ

### 平成23年度アカミミガメ防除状況

実施名	実施日	実施場所	捕獲数
主一アクアリウム	6月3日～5日	明石川（西区玉津町西河原）	7匹
シルバーおしじ	6月3日～5日		
魚菜にのびる生きもの	6月14日～15日	伊川（西区伊川谷町小寺）	19匹
牛の森	7月6日～7日		
平野町ふれあい まなづくら自然館	7月22日～24日	明石川・家崎谷川合流地点 （西区平野町家崎）	14匹
魚・鯉共生ネットこりべ	7月2日～4日	中津大池（西区平野町中津）	12匹
神戸市西区区民が のあそびカゴ	8月7日～9日 8月9日～12日	明石川本流（西区神楽谷町長、西宮） 大池（西区神楽谷福庄）	7匹